

令和 5年 5月 31日

建設消防委員会

上下水道総務課

水道料金改定に向けた検討着手について

経営環境の変化に適切に対応し、今後も持続可能な事業運営を行うため、水道料金改定の詳細な検討に着手するものです。

水道料金改定に向けた検討着手について

1 目的

経営環境の変化に適切に対応し、今後も持続可能な事業運営を行うため、水道料金改定の詳細な検討に着手するものです。

2 背景

本市のみならず、水道事業を取り巻く環境は、人口減少や節水意識の高まりなどから料金収入が減少する一方で、施設の耐震化や老朽化に伴う更新費用の増加など、厳しい状況が続いています。

そのような中、本市水道事業では、積極的な経営健全化に取り組み、消費税率の変更に伴う改定を除き、2007（平成19）年7月以降約15年間料金を据え置いてきました。

しかしながら、昨今の電気料金など物価高騰の影響に伴う経常費用の増加により、経営状況はこれまでの想定以上に厳しさを増しています。

3 内容

2022（令和4）年度2月補正予算及び2023（令和5）年度当初予算を踏まえると、今後も持続可能な事業運営を行うためには、現在の水道料金の水準では困難であるとの認識に至り、2023（令和5）年度から改定時期や改定率も含む詳細な検討に着手するものです。

4 参考（他都市比較：2020（令和2）年度決算時点）

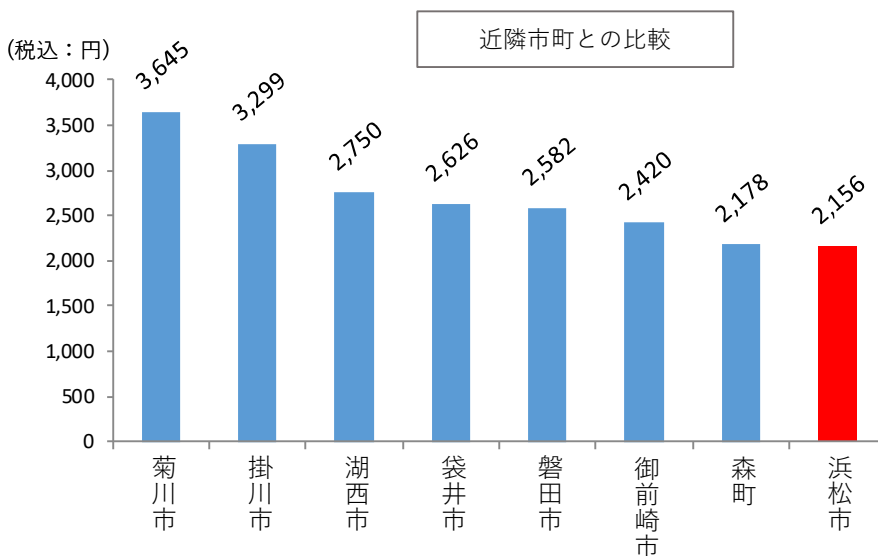
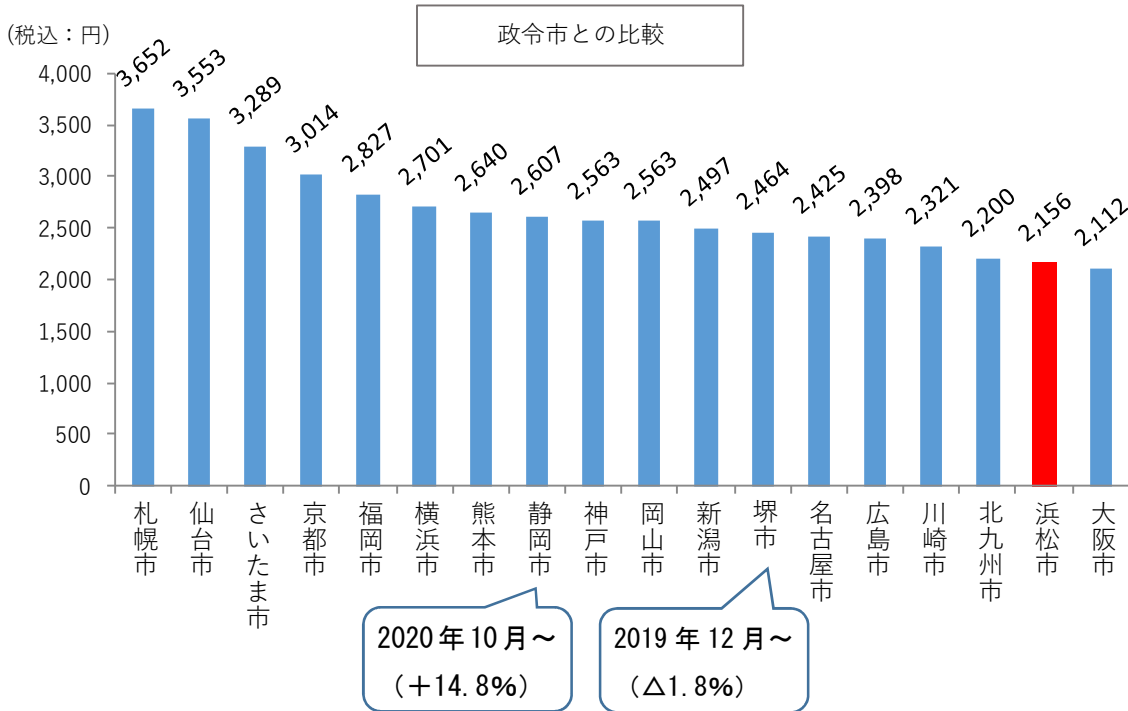
<20 m³の水を使用したときの家庭用料金（一般用・口径13mm）>の場合

- ・政令指定都市18市※の中で2番目に安い水準
※県営水道を主体とする千葉市と相模原市を除く
- ・近隣市町（県西部地域）の中で最も安い水準
- ・詳細は別紙参照

他都市との比較

〈20 m³の水を使用したときの家庭用料金(一般用・口径 13mm)〉の場合

※2020(令和2)年度決算時点



参考: 2021年度以降の改定状況

✓政令市

横浜市 2021年7月～ (+12.0%)

✓近隣市町

御前崎市 2023年4月～予定

(+11.4%)

森町 2023年4月～予定 (+20.7%)